

1. 題材名 稲毛の町をてらすゆめいろ灯りを作ろう

2. 題材について

本題材は、学習指導要領「A表現」における「(2) 感じたこと、想像したこと、見たことを絵や立体、工作に表す」活動である。そして「B鑑賞」においては、「(1) イ 感じたことや思ったことを話したり、友人と話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じ方の違いが分かる」ことが大切である。また、「共通事項」の「自分の感覚や活動を通して、形や色、組み合わせなどの感じをとらえること」や「形や色などの感じを基に、自分のイメージを持つこと」も重要な活動になってくる。光と組み合わせるとどうなるかという過程を大切にしながら学習する工作の題材である。

今回の題材は、今年第7回目を迎える稲毛あかり祭「夜灯(よとぼし)」に合わせ、もっと発展させ造形的に作れないかと考え、設定した。「夜灯」とは、遠浅の海岸が埋め立てられる前の稲毛の海で、新月の夜、カンテラの灯りで魚を獲る遊びの漁「夜とぼし漁」をしたことからきている。稲毛の浜にあったカンテラの灯りを再現し、町を照らし、暮らす人々のつながりを大切に育てていきたいと考え、開催するようになった。稲毛小の子どもたちは全員、毎年和紙にテーマに沿った絵を描いている。主催者が、それらを集め、ラミネートフィルムに入れ、丸めたものの中央にろうそくの灯りを灯し、浅間神社周辺の道路に並べている。毎年、多くの子どもたちが自分の作品を見て、その幻想的な道を歩き、祭りに参加している。稲毛の町に伝わる伝統的な「灯り」。本題材で、記憶に残る美しい幻想的な「灯り」を子どもたちの心に残し、ふるさととしての気持ちを育てたい。

そこで、まず一番の素材になる「灯り」の光源には、LEDライトを使用する。スイッチで点灯できる手軽さと安全性、さらに、色が変化することによって、作品の美しさがより、際立つことに適している。ろうそくの灯りとはまた違った美しさに子どもたちも惹かれるだろう。

次に、基礎部分となる素材にペットボトルやパウチしたラミネートフィルムなど透明な容器を準備する。ペットボトルは、身近で加工しやすいので、光源を取り込む材料に適している。また、透明であれば、中から発した光が通りやすく、色の重なりを楽しみながら工夫して作ることができる。さらに、光の見え方やまわりの景色の変化にも目を向けさせて活動を深めたい。

ペットボトルに付加する素材には、まず、一つ目には、「光を透過するもの」を準備する。光が透けて見える和紙やお花紙、カラーセロハン、マーカーなどを使い、色がより美しく見える効果を狙いたい。カラーセロハンは、色と色の重なり的美しさを狙うのに効果的であろう。紙素材は、外に展示することも考え、雨に濡れても風にも大丈夫なようにラミネートパウチして使用する。二つ目には、「影の効果が面白いもの」である。割り箸や針金、ネットのようなもので、光にあてた時の影の面白い効果を狙いたい。画用紙などでも影画のように切り抜き表現できるようにしたい。また、紙粘土の白い色がライトに当たると違った色に変化することを知らせ、効果的に紙粘土を使用させたり、何かをつける時、接着剤の代わりとしても活用したりさせる。三つ目には、「光を屈折させるもの」である。たまごパックやゼリーカップなど底に模様が入った容器やしわをよせたビニール袋を使って光を屈折させると、そのものだけで光の美しさを生むことができる。屈折しただけで、表情が変わる光に驚きを感じるだろう。四つ目には、「光の反射するもの」である。アルミホイルやスパンコールなどで、キラキラしたものが大好きな子どもたちは、光を反射する素材を楽しむであろう。このように、いろいろな材料の組み合わせを考えることによって、自分の光を見つけさせたい。そのためには、いろいろ

な材料で試す時間を確保することが必要である。試すことで、光だけでなく、影の美しさにも気付くことで、光と影による空間の広がりをもねらうアイデアあふれる個性豊かな作品とさせたい。

また、製作途中で、照明を遮った「お試しコーナー」を設け、暗いところでの見え方を随時確かめながら作れるようにしておく。暗い所で自分の作品を見て、影の表し方が不十分であれば光の出し方を考えたり、色の重なりを見て変化ある素材を使ってみたりと工夫が広がるであろう。明るいところで見た作品の様子と異なり、イメージをより広げられるようにさせたい。

本題材のクライマックスは、全員の作品を展示し、光源を点灯させる時である。子どもたちから、「わあー」という歓声があがるだろう。鑑賞する時間をとり、個々の作品と作品が複数集まることで美しさが大きく変わることを経験させたい。それには、並べ方や展示方法も工夫し、材料を透過した光の色や周囲に落ちる影などに着目させ、見合うことにより、お互いの作品の良さを知り、手作りの灯りの美しさを知らせたい。

最後に、できあがった全員の作品を稲毛あかり祭「夜灯（よとぼし）」に出品する。今まで参加していたろうそくの作品とは別に、自分の思いを表現した作品を飾ることにより、地域の祭りを創る一員としての自覚を高め、地域にさらに愛着を持たせるということが本題材のねらいである。

3. 題材の目標

- 光から想像を広げ、より美しく見えるものを作ろうとする。(関心・意欲・態度)
- 材料や色の組み合わせを考え、試しながら発想を広げる。(発想や構想の能力)
- 光を通すとどのように見えるかを工夫し、構成や素材を意識して自分の思いを表現する。
(創造的な技能)
- 自他のよさを認め合い、また集合することで生まれる効果を味わう。(鑑賞の能力)

4. 評価規準

| 関心・意欲・態度 | 発想や構想の能力 | 創造的な技能 | 鑑賞の能力 |
|-------------------------------------|---|--|--|
| 表したいことを表すことに関心を持ち、自分の思いで取り組もうとしている。 | 感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けたり、形や色、用途などを考えたりしている。 | 自分の表したいことに合わせて、材料や用具を使うとともに、いろいろな方法を試みるなど工夫し表している。 | 感じたことや思ったことを話し合ったりするなどして、いろいろな表し方や材料による感じの違いなどをとらえ、よさや面白さを感じ取っている。 |

5. 指導計画（7時間扱い）

| | 子どもの活動 | 時 | 教師の支援と評価 |
|---|---|---|---|
| 1 | ○光を透過・反射する材料を光源にかざして、見え方の変化を楽しみ、自分の作りたい灯りをイメージする。 | 1 | ○セロハンやお花紙を光源の上にかざして見せ、見え方の違いを意識できるようにする。 ○グループでいろいろな材料を光源にかざすよう促す。 ●光による材料や周囲の変化を味わう。 (関心・意欲・態度) |

| | | | |
|---|--|-----|--|
| 2 | ○構造の基になる素材を決め、作っていく計画の文章や絵をかく。 | 1 | ○自分の作りたい灯りのイメージしたものをどうやって作っていくかを文章や絵で具体的にかけるよう個別に話をよく聞き指導や助言する。 |
| 3 | ○ペットボトルなどで材料が固定できる構造を作り、ライトを取り付ける。 | 0.5 | ○基礎となる部分の大きさを決める際、はさみやカッターの使い方の確認をする。 ○切り口が危険な場合は、保護する方法を教えていく。 ●ペットボトルなどを、ランプの形を工夫する。(発想や構想の技能) |
| 4 | ○光の効果を試しながら、材料の組み合わせを工夫し、作品を作る。 (本時6/7) | 3.5 | ○「お試しコーナー」を設け、暗いところでの見え方を確かめながら作れるようにしておく。 ○光がものを透過した時の色や映し出される形について、対話しながらイメージを広げられるように助言する。 ●光の効果を試しながら材料の組み合わせを工夫して、自分なりの表し方を工夫する。(創造的な技能) |
| 5 | ○作品を集めて展示・点灯させて、自他の作品のよさや集合による効果を味わう。 | 1 | ○暗室になった場所に高さの変化をつけた展示コーナーを設け、全員の作品が集まったよさを味わえるようにする。 ○材料を透過した光の色や周囲に落ちる影などに着目させ、作品それぞれから受けるイメージの違いを味わわせる。 ●材料を透過した光の色や周囲に落ちる影などに着目し、作品それぞれから受けるイメージの違いを話したり、書いたりする。(鑑賞の能力) |

6. 本時の学習

(1) 目標

- 進んで表現や鑑賞をし、ゆめいろ灯りを作ろうとしている。(関心・意欲・態度)
- 表したいことや用途などを考えながら、形や色、素材などを生かしている。(発想や構想の能力)
- 材料や用具の特徴を生かして使い、自分の思いを表すことができる。(創造的な技能)
- 感じたことや思ったことを話し、いろいろな表し方や素材による感じの違いなどが分かる。(鑑賞の能力)

(2) 展開 (6 / 7)

| 学習活動と内容 | 教師のかかわりと評価の観点 | 資 料 |
|--|---|--|
| <p>1. 前時までの活動を振り返り、本時の活動を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> この間ここに光があると もっとよくなると思ったから、今日はこの部分を作るよ。 | <p>○今までの学習の流れを確認し、きょうのめあてを持てるよう、全員で確認をする。</p> <p>●自分のめあてを見つけている。(発想)</p> | <p>学習カード</p> |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 稲毛の町をてらす ゆめいろ灯りを作りあげよう。 </div> | | |
| <p>2. いろいろな素材を工夫して自分のイメージに合う灯りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビニール袋をつかってみようかな。 光がすけてきれいに見えるようにしましょう。 映し出された面白いよ。 ライトをつけるとどうなるのか試してみよう。 セロハンを使ってみたら、光がきれいになった。 この色の上に違う色を重ねてみよう。 暗い所で、見たら、もっと穴が空いていた方がいいと思ったよ。 | <p>○自由に選んだり、試したりできるようにするためにいろいろな材料を用意しておく。</p> <p>○カッターや接着剤の使い方については、確認できるように掲示し、できない児童に助言や補助をする。</p> <p>○紙やアルミホイルを変形させたもの(丸める、ねじる、ちぎるなど)や色の重なりなどの具体例を示し、イメージが持てるようにする。</p> <p>●自分の使いたい材料を選び、進んで創作活動をしている。(関心)</p> <p>○色を変えたり、穴のあけ方を工夫したりしている児童を褒め、紹介する。</p> <p>○光のあたり方により、作品の感じが変わることを見せる。</p> <p>○作った灯りがどのように灯されるのか確認するための暗い場所を準備し、随時暗い場所で点灯し、さらに工夫できることはないか考えるよう助言する。</p> <p>●素材の特徴を生かし、灯りを工夫して表現している。(創造的な技能)</p> | <p>LEDライト ペットボトル ペン ビニール袋 紙粘土 セロハン アルミホイル モール 子どもたちが用意したもの 接着剤</p> <p>暗室</p> |
| <p>3. できたものを暗い部屋に展示し、点灯し、感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなの作品を集めると一人よりもきれい! ○○さんのセロハンが光を通してきれいだね。 <p>4. 次時の活動の確認をする。</p> | <p>○作品を鑑賞させ、作品が集まった美しさにも気付かせる。</p> <p>○個々の作品でも光を効果的に生かした表現の工夫を賞賛する。</p> <p>●自分や友だちの表現のよさや違いに気付く。(鑑賞)</p> <p>○自分の気に入った表現や工夫、友達の作品のよかったところなどを発表させる。</p> <p>○学年全体での鑑賞をすることを伝え、次時への意欲を持たせる。</p> | <p>展示できる 教室・机・椅子・暗幕</p> |

